2020年度　事 業 報 告 書（案）

特定非営利活動法人　ひらかた環境ネットワーク会議

Ⅰ事業実施概要

2020年度は、コロナウィルス拡散による緊急事態宣言で始まった異例の一年でした。４月、５月は活動を自粛、総会も会員の方には出来るだけ委任状出席もしくは議決権行使書による参加をお願いし、ごく少数での開催としました。６月以降、マスクや消毒、検温などの予防措置を講じながら、少しづつ活動を再開しましたが、新年１月に、再び緊急事態宣言が発令され、エコフォーラムの開催も断念を余儀なくされました。また、毎年盛大に開催されている「バスのってスタンプラリー」も中止となりました。スタンプラリーに代わって企画した「わたしたちのまちの電車・バス写真募集」には多くの市民から応募があり、受賞作品を歩道橋に設置しました。これは環境ネットワーク会議の大きなPRにもなりました。このように“集まって”活動するということができにくい状況の中にあって、各人が家庭で取り組める活動は継続され、エコノートの提出枚数は過去最高となりました。

一方、学校への環境出前授業は、学校訪問をする中で、コロナ対策と配慮を万全に行うことを熱心に訴え、その結果、10月以降再開することができました。

更に、大阪府が行っている公民連携による「太陽光発電設備設置による地域環境活動推進事業」において、環境ネットワーク会議が協定先に採択され、太陽光発電設備がエコスタイルにより「うぐいすの里」に無償設置され、環境ネットワーク会議がその設置者として登録されました。

Ⅱ事業の実施に関する事項

【１】特定非営利活動に係る事業

１　地球温暖化対策事業

地球温暖化対策事業として、下の４事業に取り組んだ。コロナ禍で多少参加者が減った事業もあるが継続事業については、あまり影響なく続けることができた。また、協賛事業者むけに、実績をまとめ、協賛の継続をお願いすると共に、新規開拓も行った結果、昨年度の１１社の全ての協賛継続に加え、新しく協賛事業者が一社増加した。

【対 象 者】市民、事業者、行政

【予　　算】569,300円（収入実績：協賛金200,000円）

【支　　出】631,338円

【協　　賛】株式会社コマツ、京都信用金庫枚方支店、株式会社ホワイトマックス、大阪ガス株式会社
恩地食品株式会社、関西リサイクルシステムズ株式会社、農園 杉・五兵衛、呼人堂、
株式会社たまゆら、枚方自動車教習所、生活協働組合おおさかパルコープ、北村みそ本家

(1)　温暖化対策推進チームミーティング開催事業

月に一回、市民、行政、事業者の有志が集まり、地球温暖化対策について取り組み、事業について検討や検証を行った。

＜枚方市地球温暖化対策事業推進チーム会議＞

回	日　程	時　間	場　所
第　1回	2020年　6月12日（金）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　2回	2020年　7月10日（金）	10:00～12:00	環境保全研修室

第　3回	2020年　8月20日（木）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　4回	2020年　9月14日（月）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　5回	2020年　10月5日（月）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　6回	2020年 11月9日（火）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　7回	2021年 2月9日（水）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　8回	2021年 3月12日（金）	10:00～12:00	環境保全研修室

(2)「我が家のエコノート」普及事業

事業開始から6年を経過し7年目となった。今年、全参加者を対象に取り組みについてのアンケートをとった結果、本事業は省エネルギーを通じて CO_2削減「意識」と「実践」を結びつける大きな役割を果たしていてることがわかった。また、この取り組みを通じて広く環境への関心を高めていることもわかり、本事業の重要性を再認識した。

【対象期間】2020年４月１日～2021年3月31日

【受付期間】2020年4月1日～2021年3月31日

【応募総数】延べ参加者数　301名

今年度参加者数：150名（内新規参加者：4名）

（内訳：１年未満４　１年継続14名、2年継続19名、3年継続16名、４年継続28名、5年継続16名、6年継続52名）

延べ提出枚数　3242枚

今年度提出枚数：　553枚、

今年度配布枚数：　約760枚

【後　　援】枚方市

(3)ごみ減量推進事業

①リユースコーナーの管理運営事業

２年目となったリユースコーナーは、順調に運営されている。コロナの影響でサプリ村野利用停止期間もあったが、利用点数に大きな落ち込みはない。若い子育て世代へのアプローチとしての意義も大きい。

【対象期間】2020年4月1日～2021年3月31日

【登録者数】168名（新規44名）

【利用者数】今年度223名（累計　561名）

【利用点数】今年度1288点（累計　2339点）

②プラごみダイエット推進事業

「プラごみダイエット生活アイデア募集」を行った。大人から子どもまで幅広い層から応募があり、中には、数枚に渡りぎっしり書かれたものもあった。審査の結果８名の方が受賞され、3月20日に市役所にて表彰式を行った。内容は、大きくは次の5つに分類できた。

Ⅰ プラを使わない(マイバッグ、マイボトル等容器を持参、量り売りの奨励、プラから紙や木への移行)、Ⅱ 持ち込まない、Ⅲ 繰り返し使う、Ⅳ 分別・リサイクルの徹底、Ⅴ リメイク

【期間】　7月1日～9月30日

【応募用紙配布箇所】

会員・情報コーナー来訪者・イベント参加者・ 市内小学校・中学校、幼稚園

【応募用紙総配布数】25,000 部　配布協力学校園　61/71 校園

【応募者数】　応募総数 67 名（子供 39 名　大人 28 名）

【表彰対象者】　8 名

【表　彰　式】　3 月 20 日　市役所にて開催

(4)エコ行動宣言事業

3 年目の取組みだったが、コロナの影響でイベント時の配布ができず、参加者数は例年より少なかった。集計結果には、7 月に施行された「レジ袋有料化」の影響がはっきりと表れ「マイバックを持参する」人の割合が大きく増えたことがわかった。また、全体に「COOL　CHOICE」を実践する市民が増えたこともわかり、毎年行うことによる効果も感じられた。

【対象期間】2020 年 6 月～12 月 31 日

【受付期間】2020 年 7 月 1 日～2020 年 12 月 31 日

【応募総数】212 名　（応募用紙　配布数：25, 000 部）

【共　　催】枚方市

【後　　援】枚方市教育委員会

【協　　力】枚方市地球温暖化対策協議会

2　環境講座開催事業

今年度も環境活動に取り組む市民の輪を広げるため、下記 4 講座を実施した。

【予　　算】　219,100 円（収入実績：3,500 円）m

【支　　出】　74,858 円

(1)自然エネルギー学校 2020 の開講事業

コロナの影響で前半のイベント的なものは開催できなかった。12 月に講師をお願いしての講座を予定していたが、直前にコロナの拡散状況がひどくなったため中止となり、2 月にオンラインで同講座を開講することができた。

【開催日時】　２月２５日　（木）　18：30～20：00

【テーマ】　自然エネルギー学校「再生可能エネルギー100％社会は可能か」

～地域からめざす 2050 年の脱炭素社会

【講　師】　千葉大学教授　倉阪　秀史　氏

【形　態】　ZOOM によるオンラインでの開催

【参加者】　27 名

【対 象 者】　市民・事業者

(2)環境教育担い手育成講座「くらわんか塾」開講事業

今年度は、担い手養成講座を前面には出さず、「環境基礎講座」と「施設見学会」の２本立てとし、環境に関心のある方に広く参加いただけるような企画とした。見学会は、施設が受け入れを中止したため開催できなかったが基礎講座は開催した。受講者のうち２名は会員となり共に活動している。

【内　容】

○環境施設見学会(ソラパ、ZEH、かざぐるまを見学予定)・・・中止

９月１日(火)　9：00　～12：30　　（＊参考：応募者７名）

○環境基礎講座・・・実施

９月５日（土）10：00～15：00　　サプリ村野環境保全研修室

受講者 14 名（新規受講者４名）

【対 象 者】市民

(3)環境活動スターター講座の開講事業

環境への関心をもつきっかけとするためのミニ講座、環境の身近でホットな話題を少し掘り下げておしゃべりしようというスタイルの環境ティールームをそれぞれ、月一回のペースで開講した。コロナ禍で７月スタートとなり、12 月～２月も実施できなかったが、他の期間は、定員数を減らし、換気や消毒など、コロナ対策をとりながらできるだけ開催した。

【対 象 者】市民・事業者

【実施内容・参加者数】

＜環境ミニ講座＞　全６回実施　89 名参加　（定員各 15 名）

実施日時	実施内容	参加者数
7 月 23 日（木・祝）10：30～12：00	天の川で遊ぼう	22
8 月 22 日（木）14：00～15：30	どんぐり工作	6
9 月 24 日（木）13：30～15：00	炭苔玉を作ろう	16
10 月 22 日（木）13：30～15：00	天の川ウォーク	17
11 月 26 日（木）13：30～15：00	空き箱ｄｅお正月飾り	10
1 月 28 日（木）13：30～15：00	お餅ピザ作り　（中止）	（申込 15）
2 月 25 日（金）13：30～15：00	なんちゃってデコパージュ※（中止）	（申込 11）
3 月 25 日（木）13：30～15：00	親子で実験！「タピオカ作り」	18
合　　計		89

※準備してからの開催中止となったため、見本は作成し、材料や作り方を後日お渡しした。

＜環境ティールーム＞　全５回実施　47 名参加　（定員 10 名）

実施日時	実施内容	参加者数
7 月 9 日（木）10：30～12：00	レジ袋の有料化を考える	6
9 月 10 日（木）10：30～12：00	コロナから環境問題を考える	11
10 月 8 日（木）10：30～12：00	都市に田んぼがあることの環境面のメリットを考えよう	13
11 月 12 日（木）10：30～12：00	プラごみダイエットに特効薬はあるか～	10
12 月 10 日（木）10：30～12：00	「再エネ促進賦課金」について考えよう（中止）	申込 5
2 月 18 日（木）10：30～12：00	気候変動の変化を春の里山で探してみよう（中止）	申込 6
3 月 11 日（木）10：30～12：00	「地球一個分で暮らそう」	7
合　　計		47

3　中間支援事業

環境関連団体を支援することにより、環境活動の輪を拡げ、環境施策推進へとつなげることを目的として下記の事業を行った。

【予　　算】52,900 円（収入実績：事業収入 60,900 円）

【支　　出】 50,115 円

(1)環境団体活動交流会開催事業

エコフォーラムも NPO フェスタも中止となったため、積極的な交流はできなかったが、サプリにて随時相談業務などを行い、他団体・事業者との交流を行った。

(2)環境団体活動支援事業

① エコキャップ等回収支援事業

【事業期間】2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

【実施場所】サプリ村野環境情報コーナー　および　市内学校・施設など

【対　　象】市内全域

≪エコキャップ≫

【回収総数】個数　232,200 個　（取り組み開始からの累計 3,201,674 個）

重量　540ｋｇ（取り組み開始からの累計約 7.8t）

【CO_2削減量】1.7t（取り組み開始からの累計 24.7t）

【回収場所】事務所、および取り組み団体・事業所・学校等

【運搬回数】処理業者への運搬 3 回（軽トラック）

② 他団体活動支援事業

大阪府立枚方高校の生徒会環境活動についての相談、公共施設における環境啓発活動についての相談、エコキャップ回収についての相談など様々な相談業務を行った。また、枚方市民菊人形の会のカレンダーや菊花展のポスターなど印刷物の製作をはじめ、琵琶湖淀川流域圏連携交流会の HP 作成および管理・チラシ作成・事務局業務、部屋の貸出業務を行った。

【対 象 者】会員・その他の環境団体

【支援団体・事業所】

琵琶湖・淀川流域圏連携交流会、NPO 法人森林ボランティア竹取物語の会、枚方市子育て支援室、ひらかた市民菊人形の会、枚方市菊花展実行委員会、里親支援機関おひさま、他企業

4　ひらかたエコフォーラム開催事業

今年は、コロナウィルス拡散防止のため中止となった。

枚方市による環境表彰、並びに当法人の「プラごみダイエット生活アイデア募集」「わたしたちのまちの電車・バス写真募集」表彰式は、３月２０日に市役所にて行った。エコノート認定については、２月に随時サプリ村野に来ていただいて、認定証と記念品をお渡しした。

【予　　算】 228,400 円

【支　　出】 9,017 円

5　環境情報コーナーの運営等業務委託事業

本年度も契約書記載の業務内容を滞りなく行った。

【予　　算】220,000 円（収入実績：委託料 167,133 円　但し人件費は除く）

【支　　出】303,743 円

(1)環境情報コーナーの管理運営事業

コロナウィルスの影響で、今年度の利用者数および利用回数は大幅に減った。特に、子ども達が遊びに来ることがほとんどなくなった。しかしながら、各種取組の受付業務、緑のカーテン業務はほぼ通常通り行うことができ、一定期間を除き情報コーナーの運営は維持できた。

【事業期間】2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

【実施場所】サプリ村野南館２Ｆ　環境情報コーナー　環境保全研修室

【対 象 者】市民、活動団体、事業者

【環境情報コーナー各種利用状況】

	延べ利用数
環境情報コーナー	大人 1175 人　子ども　398　人　計 1573 人
環境保全研修室	115 回　847 人
エコドライブシュミレーター	73 回
エコナビ貸出	8 台貸し出し中

(2)緑のカーテン事業・ゴーヤの苗配布事業

毎年実施している　枚方市の「緑のカーテンモニター」への苗の配布および報告書回収業務を今年度も請け負った。今年の参加者は、155 名。苗を各４株配布し、８月にその報告書の回収業務を行った。併せて、「マイゴーヤづくり」をサプリ村野で実施し、緑のカーテン作りを体験する機会を設け、普及に努めた。２週間に一度の「マイゴーヤづくり」のお世話活動でを通して、参加者同士の交流が深まり、10 月にはオプション企画として干し柿づくり体験を行い、先人に学ぶエコな暮らしを知ってもらう機会にもなった。

【事業期間】2020 年 5 月～2020 年 10 月

【実施場所】サプリ村野南館２Ｆ　環境情報コーナー　環境保全研修室

【対 象 者】市民

・緑のカーテンモニター　　参加者 155 名、　報告書提出枚数　115 枚

・ＭＹゴーヤ登録者　　10　名　　活動回数：　13 回

6　総会及び会員交流会等開催事業

通常総会開催時期は、コロナ禍であったため、委任状や議決権行使書による出席をお願いし、少人数で開催した。交流会は開催しなかった。

≪通常総会≫

【開 催 日】令和 2 年 5 月 30 日（土）

【場　　所】サプリ村野南館 2 階 環境保全研修室

【内　　容】令和 2 年度通常総会　10：30～11：04

出席者数：68 名/正会員数：95 名（本人 16 名、委任状 20 名、議決権行使書 32 名）

議　　題：第１号議案　役員選任に関する件
第２号議案　2020 年度事業報告書案承認の件
第３号議案　2020 年度活動決算書案承認の件
第４号議案　2021 年度事業計画書案承認の件
第５号議案　2021 年度活動予算書案承認の件

【対 象 者】会員
【予　　算】30,000 円
【支　　出】25,208 円

7　広報事業

(1)会報誌「環境ひらかた」発行事業

会員への活動報告および広く市民に向けて当団体の取り組みや活動、環境の課題等の情報発信するために年４回発行した。この会報誌は、会員以外の関係団体・事業者にも配布するとともに、生涯学習市民センター･図書館等公共施設にも設置し、一般市民の方にも読んでいただけるようにしている。

【発行部数】　3400　部（A4 版８ページ、全面カラー刷り）
№65 春号　2020 年４月１日発行　700 部配布
№66 夏号　2020 年７月１日発行　900 部配布
№67 秋号　2020 年 10 月１日発行　900 部配布
№68 冬号　2021 年１月１日発行　900 部配布

【対 象 者】市民、事業者
【予　　算】220,000 円
【支　　出】259,863 円

(2)ＨＰの管理運営事業

今年度は、夏のインターン生（大学生）によって、Facebook、インスタグラム、Twitter,TikTok ４つの SNS を立ち上げた。インターン生を中心に月に２回ペースで記事をアップした。

従来の HP もアクセス数が昨年よりアップしました。「わたしたちのまちの電車バス写真募集」などのイベント情報の他、会報誌の閲覧も増えました。組織概要・総会議事録などの閲覧も多い。

【アクセス数】17,883 件　（昨年 16,322 件）
【対 象 者】会員、市民、事業者
【予　　算】 10,000 円
【支　　出】 10,000 円

(3)その他の広報活動

広報ひらかたへの掲載、NPO フェスタ、他団体イベントへの出展、各種メディアへの出演など多様な広報活動を行った。

≪情報紙・ＷＥＢ掲載≫

情報誌：枚方市広報・京阪タイムリー
WEB(インターネット上の情報サイト)掲載：いこーよ、

≪テレビ・ラジオ出演等≫

メディア	内　　容
ＦＭひらかた	環境ティールーム、環境ミニ講座、わたしたちのまちの電車・バス写真募集

≪街宣・他団体主催によるイベント参加≫

１月　オンライン NPO フェスタ　参加

他は全て中止

8. 自然エネルギー発電啓発促進事業

(1) 自然エネルギー発電及啓発事業

自然エネルギー学校において自然エネルギーの普及啓発に努めた。(2-（１）参照)

また、大阪府が行っている公民連携による「太陽光発電設備設置による地域環境活動推進事業」において、環境ネットワーク会議が協定先に採択された。これにより太陽光発電設備がエコスタイルにより「うぐいすの里」に無償設置され、当団体がその設置者として登録された。

発電容量は 8.88ｋｗ、運転開始は 2021 年 3 月 22 日である。

(2) こもれび水路プロジェクト

こもれび水路の水循環システムの故障とコロナウィルスの影響で実施できなかった。

【予　　算】50,000 円（収入実績：円）

【支　　出】0 円

9　モビリティ･マネジメント事業

“モビリティ”すなわち、“移動”の状況（移動手段等）が、個人にも社会にも望ましい方向に向くよう（環境に負荷をかけないなど)、そしてそれが自発的・主体的に行われることをめざし、それらを促す取り組みとして下記の事業を行った。

【予　　算】 3,650,000 円（収入実績：事業収入 1,452,440 円）

【支　　出】 977,460 円

(1)「ひらかた交通タウンマップ」作製配布事業

公共交通情報を伝える事で、公共交通の利用促進を図り、車社会がもたらす環境負荷を少しでも減らすことを目的に、今年も転入者向けに「ひらかた交通タウンマップ」を配布した。このマップの裏面には、電車やバスのお得で便利な利用方法をわかりやすく解説しており、転入者に限らず広く市民に役立つものとなっている。そのため、転入者以外にもマップを希望する人も多く、要望に応え図書館や環境情報コーナーにも設置し、希望者には随時無料で渡した。また、枚方市駅構内にも随時配架してもらえた。

【対 象 者】市民

【内　　容】マップの更新 2 回(12 月：3,000 部発行、3 月：9,000 部発行)

転入者向け啓発チラシ 10,000 部発行(A1 判 A4 仕上げ カラー両面刷り)

(2) 公共交通利用促進事業

①　デジタルサイネージの活用

枚方市駅中央改札前のデジタルサイネージで、コロナ禍における公共交通利用啓発 PR を行った。

②　コロナ禍における公共交通利用啓発ポスターの掲示

市内各所の公共施設並びに、京阪本線樟葉駅から香里園の各駅にコロナ禍における公共交通利用

啓発ポスターを掲示した。

③「わたしたちのまちの電車・バス写真募集」の実施

公共交通を身近に感じられる写真を市民から公募し、選考を実施し市長賞をはじめ、環境ネットワーク賞、など各賞 10 作品と、佳作として 8 作品を表彰した。併せて、受賞作品を T サイトから市役所に通ずる歩道橋に展示した。この取り組みで、写真撮影及び、作品鑑賞という行為を通して、公共交通機関に愛着をもってもらうと共に、新型コロナウィルス感染症禍の終息が見込まれた後の公共交通の利用を促す一助になった。また環境ネットワーク会議の PR にもなった。

【対 象 者】市民

【開催日時】2020 年 9 月～2021 年 1 月 12 日

【応募者数】96 名

【応募総数】272 点

【協　　賛】株式会社ブールミッシュ、京阪電気鉄道株式会社、京阪バス株式会社、MIZKAN

(3)「ひらかた交通すごろく」の実施

平成 28 年度開発した「ひらかた交通すごろく」を活用した啓発の取り組みをする予定であったがコロナ禍によりできなかった。

10　まちづくり推進事業

下記の２事業を開催予定であったが、ほとんど活動できなかった。

【予　　算】 20,000 円（収入実績：円）

【支　　出】 0 円

(1)　美しいまちづくり推進事業

・五六市会場周辺美化活動　　中止

・天の川クリーンウォーク　　中止

(2)　歴史文化遺産の保存と活用事業

ウォーキングやフォトイベントを計画していたが、実施できなかった。

11　環境教育推進事業

環境意識の醸成は子供のころからの環境教育が重要との思いで、今年も下記出前授業及び出前授業の用に供するためのツールづくりに取り組んだ。

【予　　算】 140,000 円（収入実績：事業収入 19,960 円）

【支　　出】 142,222 円

(1)　環境教育の出前授業の実施事業

年度初め、「コロナ」感染拡大対策措置として緊急事態宣言が出され、学校の全国一斉休業と言う状況となり、学校への「出前授業受け入れ依頼訪問」はできなかった。

しかし、授業時間確保の問題が解決された時には「環境出前授業」を「安全」に受講してもらう為の１つの提案として、既存メニューの「コロナ対応版」として「３密」を避ける様に配慮したメニューへの変更と、新規メニューの開発に加え、講師とスタッフの感染対策エビデンスシートを作成した。その後、ある程度目途が立ち始めた１０月以降にその提案をもって再度学校訪問を行なった結果、何校かからは比較的良い感触が得られたものの、実施校は４月に依頼をうけていた１校を含め３校にとどまった。

【実施時期】　10 月～2 月
【対象者】　市内小中学校の児童・生徒、各種団体
【実 施 校】　蹉跎西小、樟葉北小学校、西牧野小学校
【実施件数】　小学校 7 件　※今年度は団体、イベント等は無し
【実施内容】

2020 年	10 月 26 日	蹉跎西小	環境問題と電気エネルギーについて学ぼう（屋外版）
	11 月 16 日	蹉跎西小	環境問題と電気エネルギーについて学ぼう（屋内版）
	12 月 7 日	樟葉北小	環境問題と電気エネルギーについて学ぼう（屋内版）
	12 月 14 日	蹉跎西小	４R について学び、ごみを減量しよう
2021 年	1 月 15 日	西牧野小	酸性雨の実験で大気汚染について考えよう
	1 月 25 日	蹉跎西小	ペットボトルから使い捨て問題を考えよう
	2 月 8 日	蹉跎西小	穂谷の里山保全とクラフト製作

(2) 環境啓発・環境教育ツール作成事業

今年度は、「コロナ対応」のメニューとして、授業の中で「物」を共有しない、「３密」にしない、事を念頭に、「見てもらう実験」を取り入れる事にした。そのために、従来から稼働している実際の「火力発電所」「水力発電所」の原理を理解してもらうための、「火力発電模型」と「水力発電模型」、を部会員で作成した。これに、昨年度作成した「太陽光発電模型」及び、以前から保有している「風力発電模型」など自然エネルギーを利用した発電模型を加え、これらを子どもたちに目の前で見てもらうことで、それぞれの長所短所が理解でき、環境にやさしい発電方法について考えてもらう事が出来た。

12. Ｓ－ＥＭＳ支援事業

学校版環境マネジメントシステムの支援は、開始から 10 年目となり、最終年度となった。しかしながら、コロナの影響で、教育委員会から学校訪問をしないように要請があったため、訪問予定校に対し、DVD を作成配布した。また、年度末にイーズへ最終報告書を提出した。

【予　　算】 1,200,000 円（収入実績：委託料 1,570,000 円）
【支　　出】579,408 円

13. 人材育成事業

【予　　算】 0 円（収入実績：円）
【支　　出】5,540 円

(1) インターンシップ受け入れ事業

今年度は、８名の大学生をインターンシップ生として受け入れた。研修期間は、夏休み、春休みそれぞれ１０日間程度。「NPO 法人とは」「環境問題とは」の学びに始まり、環境啓発に関する企画書づくりを通じて、環境への関心を高め、それを拡げていく方法を学んでもらった。また、会議に出席し会議運営の方法を学ぶ機会を設けたり、会員との交流やイベント等を通して、様々な環境啓発活動を知ってもらうと共に、「ものごとの見方考え方」「言葉の重要性」「伝えることの難しさ」など、社会人として身に付けていかなければならないことも学んでもらった。

【対　象】大学生

【期　間】８月～９月、２月～３月　それぞれ約 10 日

【受入数】夏休み期間　ドットジェーピーより３名の大学生を受け入れ

春休み期間　ドットジェーピーより４名、関西外国語大学より１名　計５名

(2)　インターンシップ生フォローアップ事業

・スタッフ会員制度を創設（中学生～25 歳以下の若者対象）

現在　９名登録（インターン終了生中心）

・ドットジェーピー主催の SDG s イベントにパネラー参加

・夏のインターン生の最終報告会　参加

・インターン生相談業務対応

14 その他

① 会員数

今年度は、退会が８名、新規入会が９名で、期首より１名名増加した。

＜2021 年 3 月 31 日　現在　会員数＞

	正会員	賛助会員	計
個人	67	53	120
非営利団体	16	1	17
営利団体	3	0	3
	86	54	140

②令和２年度理事会の開催

◎第１回理事会

日　　時：2020 年 5 月 11 日(月)　10:30～11：59

場　　所：サプリ村野　環境保全研修室

理事総数：15 人

出席者数：13 名（本人出席７名、委任状出席１名、議決権行使書５名）

議　　題：第１号議案　役員候補者の選任に関する件

第２号議案　運営委員任命の件

第３号議案　2019 年度事業報告書(案)承認の件

第４号議案　2019 年度活動決算書(案)承認の件

第５号議案　2020 年度事業計画書(案)承認の件

第６号議案　2020 年度活動予算書(案)承認の件

◎第２回理事会

日　　時：2020 年 6 月 10 日(水)　10：30～12：00

場　　所：サプリ村野　環境保全研修室

理事総数：14　名

出席者数：12 名（本人出席６名、委任状出席３名、議決権行使書出席３名）

議　　題：第１号議案　理事長及び副理事長の選任に関する件

◎第３回理事会

日　　時：2020 年 11 月 6 日(金)　10：30～11：25

場　　所：サプリ村野　環境保全研修室
理事総数：14 名
出席者数：14 名　（本人出席：9 名、委任状出席：3 名、欠席 2 名）（
議　　題：上期事業報告および上期予算執行状況

③運営委員会の開催

回	日　程	時　間	場　所
第　1 回	2020 年　6 月 19 日（金）	13：30～15:30	環境保全研修室
第　2 回	2020 年　7 月 13 日（月）	13：30～15:30	環境保全研修室
第　3 回	2020 年　9 月　3 日（木）	13：30～15:30	環境保全研修室
第　4 回	2020 年 10 月 23 日（金）	13：30～15:30	環境保全研修室
第　5 回	2020 年 11 月 20 日（金）	13：30～15:30	環境保全研修室
第　6 回	2020 年 12 月 15 日（火）	13：30～15:30	環境保全研修室
第　7 回	2021 年　2 月 15 日（月）	14：00～16:00	環境保全研修室
第　8 回	2021 年　3 月　22 日（月）	14：00～16:00	環境保全研修室

④枚方市地球温暖化対策事業推進チーム会議の開催

回	日　程	時　間	場　所
第　1 回	2020 年　6 月 12 日（金）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　2 回	2020 年　7 月　9 日（金）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　3 回	2020 年　8 月 20 日（木）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　4 回	2020 年　9 月 14 日（月）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　5 回	2020 年 10 月　5 日（月）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　6 回	2020 年 11 月　9 日（月）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　7 回	2021 年　2 月　9 日（火）	10:00～12:00	環境保全研修室
第　8 回	2021 年　3 月 12 日（金）	10:00～12:00	環境保全研修室

⑤その他参加したミーティング

◎おおさかスマートエネルギー協議会・家庭部門会議
◎琵琶湖淀川流域圏連携交流会幹事会

⑥団体・審議会等への派遣

◎枚方市環境審議会
　期　間：2020 年 4 月～2021 年 3 月　　派　遣：委員として 1 名
◎枚方市地域産業基盤強化奨励事業選定審査会
　期　間：2020 年 4 月～2021 年 3 月　　派　遣：委員として 1 名
◎枚方なぎさ高等学校学校協議会
　期　間：2020 年４月～2021　年 3 月　　派　遣：委員として 1 名

【２】. 収益事業　　該当なし